

2026 年度 授業計画(シラバス)							
学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		理学療法研究法 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	前期	教室名	302
担 当 教 員		橋村 康二	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
研究の意義、論文の構成と読み方、研究デザインと基本的統計学的分析方法についてに学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
授業態度、課題レポートの総合評価とする。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
配布資料							
《授業外における学習方法》							
日々の学びから、理学療法士に関連する事項について疑問視を持つ							
《履修に当たっての留意点》							
パソコン等のデバイスを常に持参すること。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究の意義を説明できる		配布資料	1年次の概論を振り返り、PTの学術活動について復習しておく	
		各コマにおける授業予定	理学療法士が研究することの意義について講義する				
第 2 回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文構成を理解し各パラグラフに何が書かれているか説明できる		配布資料	特になし	
		各コマにおける授業予定	論文構成の理解し論文を読んでみる				
第 3 回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文を読み、要約し説明できる		配布資料	論文を検索し印刷してくる	
		各コマにおける授業予定	実際に読んだ論文内容を要約し他者に説明してみる				
第 4 回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究の流れを説明できる		配布資料	もう一度検索した論文を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	研究のプロセスと内容を講義する				
第 5 回	講義形式	授業を通じての到達目標	変数の種類と概念を説明できる		配布資料	特になし	
		各コマにおける授業予定	各変数について講義する				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	二群間比較の概念と方法を説明できる	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	変数に応じた二群間比較を講義する		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	二群間比較を経験する	配布資料	二群間比較を復習しておく
		各コマにおける授業予定	モデル変数に対して実際に統計処理してみる		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	相関分析の概念と方法を説明できる	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	変数に応じた相関分析を講義する		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	相関分析を経験する	配布資料	相関分析を復習しておく
		各コマにおける授業予定	モデル変数に対して実際に統計処理してみる		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	多変量解析の種類を説明できる	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	多変量解析の目的、種類を講義する		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文を読みなぜその統計手法を使っているか説明できる	配布資料	統計に関する授業を復習しておく
		各コマにおける授業予定	論文を読み扱う変数と使用されている統計方法を理解する		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究デザインに向けてディスカッションできる	配布資料	予め研究してみたい分野を考えておく
		各コマにおける授業予定	グループで興味ある分野についてディスカッションする		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究デザインに向けてディスカッションできる	配布資料	予め研究してみたい分野を考えておく
		各コマにおける授業予定	グループで興味ある分野についてディスカッションする		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	興味ある分野に関して論文検索し情報収集する	配布資料	予め興味ある分野の文献を検索してみておく
		各コマにおける授業予定	グループで協力して論文検索し興味ある分野について情報収集する		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	興味ある分野に関して論文検索し情報収集する	配布資料	予め興味ある分野の文献を検索してみておく
		各コマにおける授業予定	グループで協力して論文検索し興味ある分野について情報収集する		